

## 第206号

発行所 新潟市中央区新光町 15-2  
新潟県公社総合ビル内  
公益財団法人 新潟県危険物安全協会  
TEL 025-285-3490  
発行者 理事長 小林 純 男  
編集者 事務局長 大島 進 三  
印刷 (株)ハイングラフィック

## 令和元年度全国危険物安全大会が開催され 消防庁長官表彰・全危協理事長表彰式が行われました

令和元年度全国危険物安全大会が6月3日(月)東京都内「ルポール麹町」で開催され、全国の保安功労者や優良事業所に対して表彰が行われました。当協会からは、消防庁長官表彰及び一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰を次の方々、事業所が受賞されました。誠にありがとうございました。栄えある表彰は、受賞されました皆様の災害防止に対する不断の努力の賜物であり会員一同心からお慶び申し上げます。今後とも危険物災害の防止に御尽力をいただきますようお願い申し上げます。



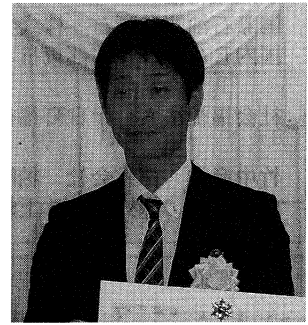
佐藤裕幸氏



長谷川 浩氏



西川録郎氏

阿部精麦株式会社  
代表取締役  
阿部一郎氏

株式会社田辺商店 代表取締役 田辺澄子氏は都合により表彰式を欠席されました。

(敬称略)

## 〔消防庁長官表彰〕

危険物保安功労者 佐藤 裕 幸 (公財) 新潟県危険物安全協会

評議員会会長 (柏 崎)

優良危険物関係事業所 株式会社田辺商店

代表取締役 田 辺 澄 子 (三 市 北 蒲 原)

## 〔(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰〕

危険物保安功労者 長谷川 浩 (公財) 新潟県危険物安全協会評議員 (魚 沼)

危険物保安功労者 西 川 録 郎 (公財) 新潟県危険物安全協会

上越地区支会理事 (上 越)

優良危険物関係事業所 阿部精麦株式会社 代表取締役 阿 部 一 郎 (加 茂)

当協会ホームページの「情報公開」に事業報告、決算書等を掲載しましたのでご覧ください。

<http://niigatakiankyo.sakura.ne.jp>

# 平成31年度優良事業所等表彰式を挙

5月28日(火)新潟市において2019年度関東甲信越地区危険物安全協会連合会表彰の伝達式及び平成31年度優良事業所等表彰式が新潟県知事(代理 坂井敦新潟県防災局消防課長)、新潟県消防長会会長(代理 小林佐登司新潟市消防局次長)ほか、関係者多数の御臨席のもと盛大に挙行されました。

保安管理体制が模範的で、危険物の安全管理等に顕著な功績があった個人・事業所の皆様が受賞されました。会員一同心からお祝い申し上げます。今後とも危険物災害の防止に御尽力をいただきますようお願い申し上げます。

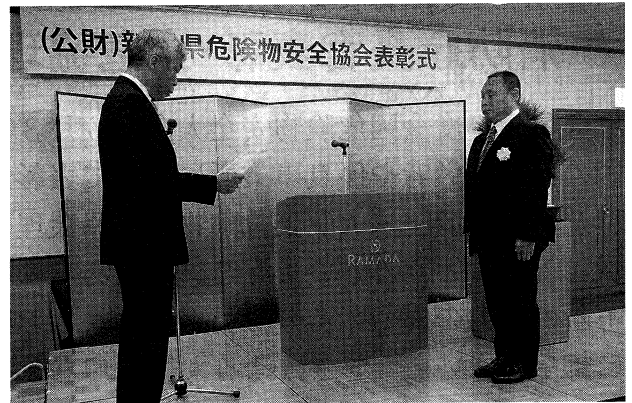
## ◆ 関東甲信越地区危険物安全協会連合会表彰 ◆

### 〔個人〕

伊 関 敏 春 (三市北蒲原)  
北 原 和 夫 (長 岡)

### 〔事業所〕

有限会社 塩野町石油 (村上・岩船)  
株式会社 野口政一商店 (三市北蒲原)  
金剛薬品 株式会社 新潟支店 (新 潟)  
株式会社 トカン (新 潟)  
北越工業 株式会社 (燕・弥彦)  
小飯塚石油 (見 附)  
国際石油開発帝石 株式会社  
国内E & P事業本部東日本鉱業所長岡工場 (長 岡)  
社会福祉法人 十日町福祉障害支援施設なかまの家 (十 日 町)  
竹中産業 株式会社 柏崎港油槽所 (柏 崎)  
中村石油 株式会社 上越営業所 (上 越)



小林理事長による表彰

## ◆ 公益財団法人新潟県危険物安全協会優良事業所等表彰 ◆

### ● 優良事業所

#### 〔下越地区〕

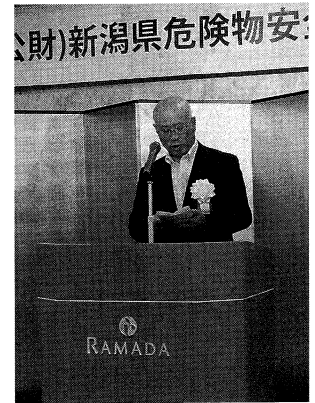
株式会社 わかぶな高原 (村上・岩船)  
大宝運輸 株式会社 (三市北蒲原)  
株式会社 柴田屋商店 (三市北蒲原)  
三菱ガス化学 株式会社 新潟工場 (新 潟)  
新潟観光開発 株式会社 (新 潟)  
有限会社 田島屋 (新 潟)  
株式会社 アオキハウジング (新 潟)  
株式会社 早出川建設 (五泉東蒲原)  
株式会社 コメリハード&グリーン 小池店 (燕・弥彦)

#### 〔中越地区〕

富士化学塗料 株式会社 三条営業所 (三 条)  
斎藤塗装 有限会社 (加 茂)  
社会福祉法人 長岡三古老人福祉会  
特別養護老人ホーム槇山けやき苑 (長 岡)  
東部運送 株式会社 長岡営業所 (長 岡)  
株式会社 北越舗道 (小 千 谷)  
株式会社 吉野屋 (魚 沼)  
十日町市役所中里支所 (十 日 町)  
株式会社 東芝 柏崎工場 (柏 崎)



新潟県知事祝辞  
(坂井敦新潟県防災局消防課長)



新潟県消防長会会長祝辞  
(小林佐登司新潟市消防長会会長代理)

#### 〔上越地区・佐渡地区〕

名立運送 株式会社 (上 越)  
中田石油 株式会社 新井営業所 (上 越)  
妙高酒造 株式会社 (上 越)  
東京発電 株式会社 糸魚川事業所 (糸 魚 川)

### ● 優良危険物取扱者

新潟県厚生農業協同組合連合会真野みずほ病院  
池 正人 (佐 渡)

### ● 製造所等以外の会員事業所

有限会社 関本塗装 (見 附)

(敬称略)

## 平成31年度臨時評議員会及び 第1回理事会が開催されました ～平成30年度事業報告・決算の承認ほか～

平成31年度臨時評議員会、平成31年度第1回理事会が5月28日(火)新潟市において開催されました。会議の冒頭に小林理事長から「皆様方には引き続き事故防止のための活動に今後とも積極的に取り組んでいただきたい。協会としても危険物施設での事故防止とそのため安全管理体制の確立、危険物取扱者の資質向上を促すための取組など危険物に関する安全の確保を引き続き進め、公益法人として、会員並びに県民の利益の増進につながるよう努めていく。」という挨拶がありました。

第1回理事会では、決算関係議案の審議を行い、平成30年度事業報告・収支決算が承認可決されました。その後、この平成30年度収支決算を定時評議員会で承認可決していただくための令和元年度定時評議員の招集を決めていただきました。

臨時評議員会では、平成30年度事業報告及び決算状況の事務局説明と質疑応答を行いました。

平成30年度事業につきましては皆様のご協力をいただきまして、全事業を円滑に実施することができました。感謝申し上げます。平成31年度（令和元年度）も平成30年度と同様に事業計画に沿って着実に事業を進めてまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 【第1回理事会提案議案】

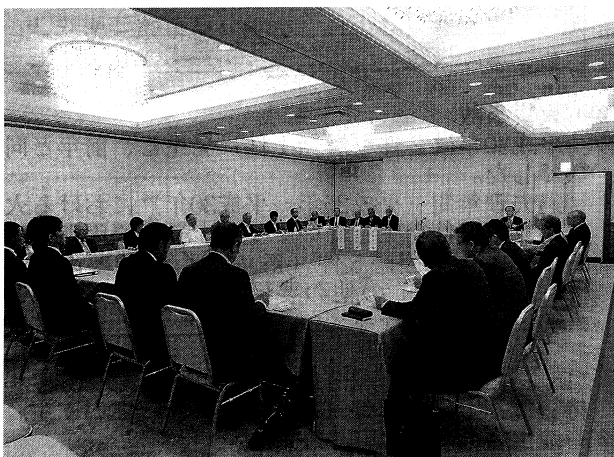
- 第1号議案 平成30年度事業報告案の承認について
- 第2号議案 平成30年度収支決算案の承認について
- 第3号議案 令和元年度定時評議員会の招集について
- その他 協会設立60周年記念事業について  
報告事項

### 【臨時評議員会提案議案】

- 報告事項 平成30年度事業及び決算状況について報告
- 協会設立60周年記念事業について



小林理事長



評議員会、理事会



佐藤評議員会会長

## 平成30年度決算が承認されました

5月28日に開催された平成31年度第1回理事会で承認された平成30年度決算関係議案が6月13日に開催された書面による令和元年度定時評議員会で承認されました。

これをもちまして、平成30年度決算の承認手続き

が終了いたしました。

### 【定時評議員会提案議案】

第1号議案 平成30年度収支決算の承認について

## 賛助会員を募集しています

当協会は、社会公共の安全に寄与するため、危険物実務研修会等を通じて防災意識を普及啓発すると同時に、危険物取扱者保安講習や資格取得を目指す方々を対象とした講習会等の公益目的事業を展開しています。

当協会ではこの目的に賛同し、活動に協力して下さる賛助会員を募集しています。賛助会員の皆様には「協会だより」等をお送りするほか、ホームページ及び協会だよりでご芳名等を紹介させていただきます。また、賛助会費は寄附にあたり、税制上の優遇措置もあります。詳細は当協会のホームページをご覧ください。

現在の賛助会員の内、法人会員は次の2社（五十音順、敬称略）です。

### (有) エステック

〒950-2023

新潟市西区小針1502番地3

電話：025-230-7007

Fax：025-230-7009

地下タンク等定期点検認定事業者

移動貯蔵タンク定期点検認定事業者

### (有) オイルメンテナンス新潟

〒950-0063

新潟市東区上王瀬町1番50号

電話：025-279-0050

Fax：025-279-0051

地下タンク等定期点検認定事業者

<http://e-abura.jp/>

## 平成30年の危険物事故発生状況について

～自主保安体制の確立と流出事故対策の徹底を～

新潟県防災局消防課

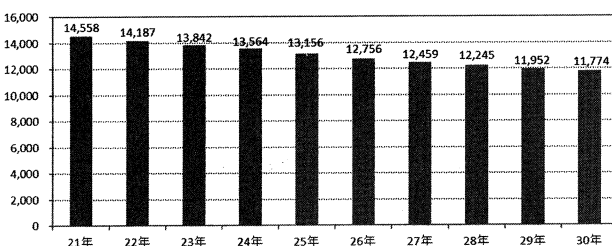
平成30年に県内で発生した危険物施設に係る事故の概要をお知らせします。これらを参考に事故防止対策の推進を図ってください。

### 1 新潟県の事故発生状況

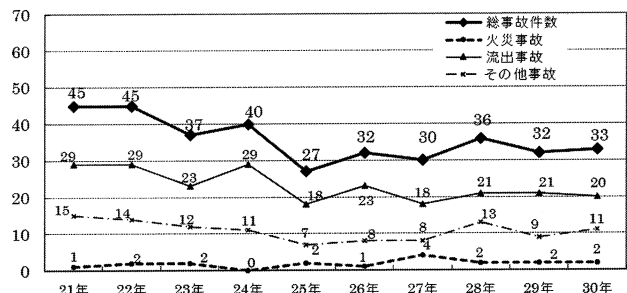
#### (1) 危険物施設数と事故発生件数の推移

県内の危険物施設数は年々減少しており、平成30年3月31日現在11,774施設となっています。事故件数も漸減傾向にあります。平成30年は前年の32件から33件へと微増しました。

新潟県の危険物施設数の推移



#### 新潟県内の危険物に係る事故件数の推移



#### (2) 火災事故

平成30年は2件（爆発1件）発生し、前年と同数でした。

過去5年間（平成26年～平成30年）における火災事故は11件発生していますが、発生原因別みると、人的要因が5件（45.4%）、物的要因が3件（27.3%）、その他の要因が3件（27.3%）と人的要因が多くなっています。

人的要因の内訳をみると、誤操作が2件（18.2%）、操作確認不十分が2件（18.2%）、維持管理不十分が1件（9.1%）となっています。

#### (3) 流出事故

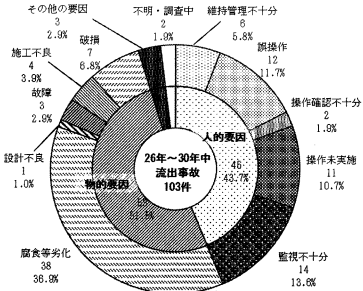
平成30年は20件発生し、前年より1件減少しました。

過去5年間では103件発生していますが、発生要因は物的要因が53件と最も多く、人的要因が45件となっています。

物的要因の内訳では「腐食等劣化」によるものが38件で約7割を占めています。

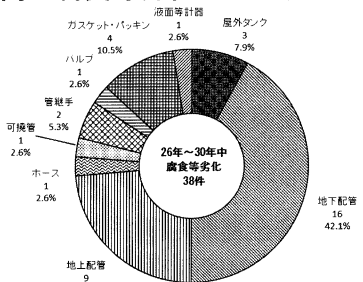
人的要因の内訳では、「監視不十分」が14件と最も多く、次いで「誤操作」が12件となっています。

### 県内の流出事故発生原因



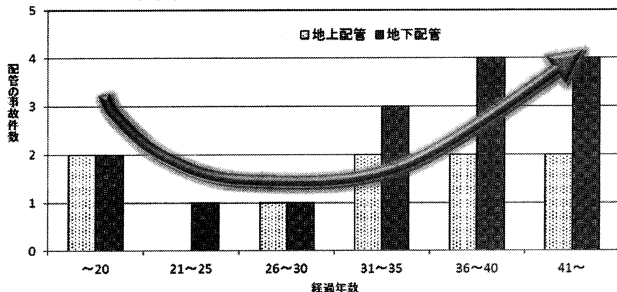
また、流出箇所別では地下配管が16件で最も多く、次いで地上配管が9件となっており、これらからの流出事故は「腐食等劣化」によるものの66%となっています。

### 県内の腐食等劣化による流出箇所



主な流出箇所である地下配管、地上配管について、使用年数（使用年数が不明なものについては設置からの年数）を比較すると、31年から40年経過すると多く発生しています。

### 県内の経年別事故件数（配管）

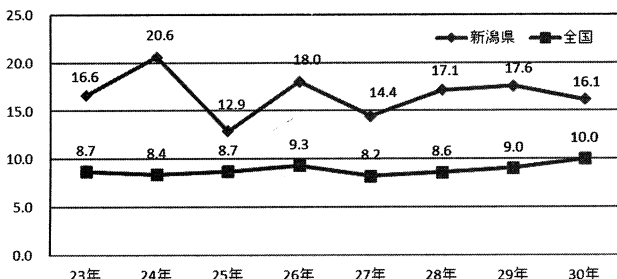


## 2 新潟県の事故発生傾向

新潟県の事故発生率を全国と比較すると、火災事故と流出事故で大きく異なっています。

### 流出事故発生率

(年間、1万施設あたりの件数)



火災事故では、発生率が非常に低くなっており、平成30年も2件の発生に止まり、大変好ましい状

況が続いています。一方、流出事故は全国と比較して倍近くの高い発生率で推移しています。

過去5年間（平成26年～平成30年）に45件発生した人的要因による流出事故について危険物施設別にみると、給油取扱所で18件（40.0%）、一般取扱所で11件（24.4%）の順となっています。

このうち、一般取扱所の5件及び給油取扱所の5件は、移動貯蔵タンクに積み込む際にその場を離れたり、注油ノズルのオートストップを過信したためにタンクの注入口から積み込み中の危険物が溢れたものです。

また、セルフ給油取扱所での顧客のノズル誤操作によるものが10件発生しています。

## 3 事故防止のために

県内では、全国と比較して流出事故が多く発生しています。液体の危険物の流出事故は、その影響範囲が広くなり、重大事故となりがちです。

事故を未然に防止するためには、施設を適正に維持管理し、危険物を正しく貯蔵又は取扱うことを徹底することが不可欠です。また、これを達成するためには、企業全体として取り組む必要があります。これらの対策は多岐にわたりますが、そのうち重点的に取り組むべき次の対策を推進しましょう。

- (1) **企業全体として取り組むべきこと**
  - ・経営トップが保安に対する強い熱意をもって、様々な対策に取り組んで自主保安体制を確立する。
  - ・不安全行動の根絶のため、手順を守らない人を黙認しない企業風土を醸成する。
  - ・事故発生時の適切な対応手順を定め、これが徹底されるよう教育訓練を行う。
- (2) **施設の適正な維持管理に必要なこと**
  - ・定期点検を確実に実施し、この結果に基づく速やかな修繕と、計画的な設備の更新を行う。
  - ・日常点検を強化してマンネリ化を防ぎ、腐食等劣化の前兆を見逃さない。
  - ・危険物に係る機器は、壊れるまで使用するのではなく、適正な時期に更新をする。
  - ・消防法令で定められた内面ライニング等の「地下貯蔵タンクの流出防止対策」を確実に実施する。
  - ・埋設部での流出を早期に発見するために有効である、在庫管理を徹底する。
- (3) **正しい貯蔵又は取扱いに必要なこと**
  - ・定められた手順を遵守し、必要な場合は「安全」を重視してスタッフ全員で見直す。
  - ・従業員間の知識技能の伝承に努め、蓄積された安全確保の財産を継承していくこと。
- (4) **その他**
  - ・地震等自然災害による被害を教訓に、次の対策を講じる必要がある。
  - ・危険物施設の配管や、建築物、保安設備等の耐震性を再確認し、必要な対策を講じる。
  - ・危険物施設周辺の液状化の可能性等を再確認し、必要な対策を講じる。
  - ・平成29年11月に新潟県による新たな津波浸水想定が出されたことから、従前の新潟県独自に想定した津波浸水想定と併せ、浸水が想定される危険物施設については人的被害防止と危険物漏えいや火災防止のための具体策を予防規程等に規定する。
  - ・梅雨期や台風期の風水害被害に備え、事業所の実情に応じた風水害対策を講じる。
  - ・実践的な訓練を通じて周知徹底を図るとともに、従業員の対応能力を高める。



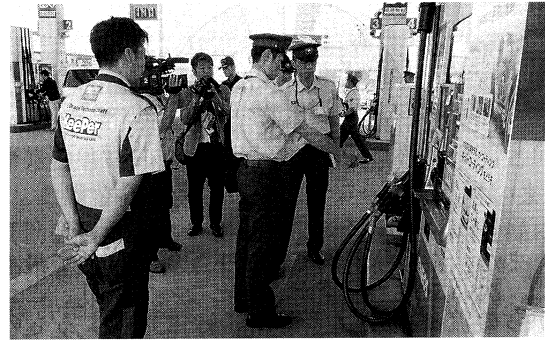
## 新潟地区支会 危険物安全週間中の取り組み

新潟地区支会では、6月2日から6月8日までの危険物安全週間に伴い、新潟市消防局庁舎前に懸垂幕を掲揚するとともに、各消防署においても懸垂幕、立看板、ポスター等の掲出及び消防車両等による広報を実施し、危険物の適正な貯蔵、取扱いの実施について事業所及び地域住民に対し広報・啓発活動を実施しました。消防職員による立入検査は、977事業所、2013施設に対して実施し、施設の適正な管理と自主保安体制の確保を指導しました。

また、セルフスタンドでの給油中の吹きこぼれ事故が近年多く発生していることから、会員セルフスタンドの立入検査に合わせ、スタンドスタッフが利用者に対する適正な給油要領等の説明会を開催し、その様子を報道機関に公開するなど、メディアと協

力して適正な利用方法と事故防止の啓発を行いました。

今後も会員事業所の皆さんと連携を図りながら、危険物の事故防止に努めてまいります。



## 魚沼地区支会 危険物安全週間消火訓練の実施

新潟県危険物安全協会魚沼地区支会では、危険物安全週間に伴い給油取扱所において、避難誘導、初期消火、通報訓練を実施しました。

訓練の想定は、セルフスタンドで給油中に給油口付近から出火したというもので、それぞれの従業員が決められた役割分担の中で初期消火、119番通報、避難誘導などを一連の流れで行いました。119番通報では実際に消防本部への通報を行い、避難誘導では火災車両内の人を安全な場所まで誘導するなど、本番さながらの緊張感ある訓練となりました。従業員にとっては、火災等の災害が発生した際にどのような対応をするのかを再確認でき、有意義なものとなりました。訓練終了後には、水の入った訓練用の

消火器を従業員全員が体験し、操作方法の確認とともに家庭での防火意識の高揚にも役立てることができました。

また、危険物安全週間期間中に市内給油取扱所では、安全週間PR用のぼり旗の掲示を行い、危険物の保安に対する意識啓発を推進するとともに、消防職員による危険物施設の立入検査を実施して、施設の保全管理を呼びかけました。



## 受験準備講習会に参加しませんか!!

受験準備講習会は、受講者から大変好評をいただいております。昨年度のアンケート調査によれば、93%の方から「受験勉強の参考になるよい講習会だった」との回答をいただきました。また、合格するためには講習会受講後の学習が不可欠ですが、このために必要な「試験に重要な部分」がよく解った方も77%に達しています。

講習会は限られた時間ではありますが、その中で合格するためのポイントをはっきりと示し、出題傾向を念頭においたメリハリのある講習を行って「試験対策に徹した講習」としてまいりますので、従業員の資格取得やスキルアップに役立てていただきたいと思っております。

10月には、平日の2日間では参加が難しい方を対象とした、土曜日、日曜日の1日間で開催する講習会も開催します。(8ページの講習会のお知らせをご覧ください。)

なお、お申し込みには簡便なインターネットによる方法もありますのでご利用ください。



## 平成31年度危険物安全週間事業が行われました

危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進することにより、各事業所における自主保安体制の確立を図るため、6月2日から8日までの7日間にわたり、全国で「危険物安全週間」が実施されました。県内におきましても、下表のように各地区支会(地

区協会)で様々な取組が行われました。来年度におきましても、これらを参考にされまして、効果的な安全週間活動を実施していただきますようお願いいたします。

### 地区支会(地区協会)の特徴的な活動の実施状況

地区支会名 地区協会名	広 報 活 動 の 概 要 等	事業所訪問(立入検査)状況等			
		事業所数	消 防 会 員	所要日数	
村上・岩船	・危険物施設の立入検査を行った。(6月5日、6日) ・協会員事業所に訪問し、ポスター等の資料により安全週間のPRを実施した。(6月3日)	12	2名	1名	3日
三市北蒲原	・地域住民に対し「FMしばた」でスポット放送を実施した。 ・会員事業所の入口等に垂れ幕を掲示し、安全週間の啓発活動を推進した。	94	99名	5名	5日
新 潟	・全支会員あてに「危険物安全週間」推進事項の依頼文を配布し、「危険物安全週間運動実施中」旗の提出を依頼した。	1208	600名	-	7日
五泉東蒲原	・阿賀町情報ネットワーク(TV電話)及び五泉市テレホンサービスにより、「危険物安全週間」について住民に広報活動を実施した。 ・危険物安全協会員に対して危険物安全週間実施要綱を配布し危険物にかかる事故防止等の啓発を図った。 ・危険物施設の立入検査を行った。 ・市の広報誌、ホームページ及びフェイスブックに危険物の保管方法・取扱い方法等の記事を掲載した。 ・協会加入事業所の危険物施設に危険物安全週間広報用消防写真新聞「危険物安全週間号」を配布した。	9	38名	-	6日
燕・弥彦	・消防車両(ポンプ車1台、広報車3台)に協会役員が同乗し、管内を巡回し対する事故防止について広報活動を実施した。 ・危険物取扱いについての注意点や事業所に、三條新聞社、越後ジャーナル、ケンオー・ドットコム、燕市役所、弥彦村役場より取材を受けた。 ・会員事業所へ事前配布済みの「危険物安全週間中用」垂幕の一斉掲示をした。	20	71名	-	5日
三 条	・三條新聞に「危険物安全管理運動」の広告を掲載した。 ・危険物施設の巡回指導を実施した。	12	3名	6名	1日
加 茂	・ミス雪椿を一日消防署長に招き、地区支会会長以下13名で徒歩と車両に分かれ、徒歩班はミス雪椿を先頭に、加茂市の市場約2kmをポケットティッシュ(標語入り)と花の種を配るなどして、広報活動を実施した。 ・田上町にて幼稚園等を訪問し、園児約300名に折り紙を配布した。	-	-	-	1日
見 附	・協会役員と消防職員で、広報車両により市内巡回広報を実施した。	20	4名	9名	5日
長 岡	・消防機関の協力を得て、消防本部庁舎等に危険物安全週間の懸垂幕、ポスターの掲示及びのぼり旗を掲げた。 ・新潟日報(6月2日朝刊上中越版)に危険物安全週間の広報文を掲載し、事故防止の啓発を図った。	-	-	-	7日
小 千 谷	・ポスター及び小冊子を配布し、管内危険物施設への立入検査実施時に地下タンク貯蔵所に係る流出防止対策について説明をした。	12	39名	-	9日
魚 沼	・ポケットティッシュの配布及び「危険物安全週間」PR用ののぼり旗を協会加盟の給油取扱所に掲示した。 ・危険物施設等の立入検査を行うとともに、給油取扱所における避難誘導、初期消火及び通報訓練を実施した。	20	7名	3名	7日
十 日 町	・「危険物安全週間実施中」と表記の桃太郎旗を掲揚した。 ・危険物施設等の立入検査を行うとともに、危険物の適正な取り扱い等の啓発を行った。	174	140名	18名	29日
南 魚 沼	・危険物安全週間のポスターを掲示し広報活動を行った。 ・ラジオのFM雪国に出演し、油漏れ防止の広報活動を行った。	11	3名	9名	1日
柏 崎	・アピールパネルを消防本部玄関に貼付した。 ・広報用資料(チラシ、冊子)を地区支会会員等へ配布し、危険物の保安に関する意識高揚の普及に努めた。	15	14名	-	6日
上 越	・会員事業所、主要道路及び公共施設等に横断幕と垂れ幕、立て看板を設置するとともに、消防署庁舎前の電光掲示板を利用して広報活動を行った。 ・行政無線による広報活動を実施した。 ・会員事業所へ安全啓發文書、防災啓発物品の配布を実施した。	49	219名	43名	36日
糸 魚 川	・糸魚川地区支会だよりの発刊、ポスター・小冊子を配布し、糸魚川駅電子掲示板(デジタルサドネージ)や糸魚川市有線テレビジョン、市ホームページへの広報・啓発活動を行った。 ・糸魚川地区支会管内の危険物施設立入検査を実施した。	11	6名	-	3日
佐 渡	・ケーブルテレビ文字放送による広報を行った。 ・役員が同行し立入検査時に、安全管理に関する啓発を行った。	9	9名	6名	4日

\*各地区支会(地区協会)では、表に記載されている活動のほか、ポスター・パンフレット等啓発資材の配布、消防庁舎への懸垂幕の掲示、車両への広報用マグネットシートの貼付を実施していますが、共通しているので表中の記載は省略いたしました。

### 危険物取扱者保安講習（8月下旬以降）のお知らせ

「受講案内」及び「受講申請書」は、当協会及び各地区支会（地区協会）、消防本部（署）に用意してあります。

講習日	講習会場	講習種別			定員	受講申請 受付期間	講習会場所在り地
		一般 (その他)	給油 取扱所	コンビ ナート			
8月23日(金)	村上市民ふれあいセンター	午後			135	7/19~8/2	村上市岩船3270
8月29日(木)	新潟テルサ	午前			140	7/25~8/8	新潟市中央区鐘木185-18
		午後			140		
9月4日(水)	長岡新産管理センター	午後	午前		各108	7/30~8/16	長岡市新産2-1-4
9月10日(火)	柏崎エネルギーホール	午前			120	8/2~8/16	柏崎市駅前2-2-30
		午後			120		
9月12日(木)	南魚沼市ふれ愛支援センター	午後			150	8/6~8/23	南魚沼市坂戸399-1
9月18日(水)	糸魚川建設会館	午前			84	8/9~8/28	糸魚川市南押上3-3-36
		午後			84		
9月25日(水)	上越人材ハイスクール	午後			120	8/21~9/4	上越市高土町3-1-15
9月26日(木)			午前	午後	各120		
10月2日(水)	新潟テルサ	午前		午後	各140	8/28~9/11	新潟市中央区鐘木185-18
10月17日(木)	小千谷市総合福祉センター サンラックおぢや	午後			150	9/12~9/26	小千谷市大字桜町5140
11月1日(金)	新発田市生涯学習センター	午後			180	9/27~10/11	新発田市中央町5-8-47
11月6日(水)	新潟テルサ	午前	午後		各140	10/2~10/16	新潟市中央区鐘木185-18
11月8日(金)	長岡新産管理センター	午前			108	10/3~10/17	長岡市新産2-1-4
		午後			108		
11月14日(木)	燕三条地場産センター メッセピア	午後			150	10/10~10/24	三条市須頃1-17
11月21日(木)	上越人材ハイスクール			午後	120	10/17~10/31	上越市高土町3-1-15
11月22日(金)		午前		午後	各120		
2月6日(木)	新潟テルサ	午前			140	12/27~1/16	新潟市中央区鐘木185-18
		午後			140		
2月7日(金)		午前		午後	各140		

<午前の場合> 受付時間：9時00分～9時30分 講習時間：9時30分～12時30分  
 <午後の場合> 受付時間：1時00分～1時30分 講習時間：1時30分～4時30分

### 合格への近道

### 危険物取扱者試験乙種第四類受験準備講習（10～1月）のお知らせ

「講習案内」、「受講申込書」は、当協会、各地区支会（消防本部・署）に用意してあります。  
 また、お申し込みが簡単なインターネットによる方法もあります。協会ホームページをご覧ください。

講習日	講習会場	定員	申込受付期間	講習会場所在り地
10月5日(土)★1日講習	上越市市民プラザ	100	9月6日～9月27日	上越市土橋1914-3
10月10日(木)～11日(金)	長岡新産管理センター	80	9月12日～10月3日	長岡市新産2-1-4
10月20日(日)★1日講習	新潟テルサ	100	9月20日～10月11日	新潟市中央区鐘木185-18
1月16日(木)～17日(金)	長岡新産管理センター	80	12月19日～1月9日	長岡市新産2-1-4
1月23日(木)～24日(金)	上越市市民プラザ	100	12月26日～1月16日	上越市土橋1914-3
1月29日(水)～30日(木)	新潟テルサ	100	12月27日～1月22日	新潟市中央区鐘木185-18

<講習時間> 2日間講習の場合：1日目午後1時30分～午後4時30分まで（物理/化学）  
 ：2日目午前9時30分～午後4時30分（燃焼消火/性質等・関係法令）  
 1日講習の場合：午前9時30分～午後6時30分（物理/化学・燃焼消火/性質等・関係法令）  
 （1日講習は、10月5日（上越）、10月20日（新潟）の2回のみです。）

**保安講習、受験準備講習とも、定員に余裕がある場合は、受付期間終了後でも受け付けます。  
 協会のホームページのインフォメーションをご覧ください。**

### 2019年度危険物取扱者試験（9～3月）

((一財)消防試験研究センター新潟県支部)

「試験案内」、「受験申込書」は、県内の消防本部（署）及び（一財）消防試験研究センター新潟県支部に用意してあります。

試験日	受付期間		試験の種類	試験実施地
	電子申請	書面申請		
2019年 9月1日(日)	7月16日(火) ～7月29日(月)	7月19日(金) ～8月1日(木)	全種類	新潟市、長岡市、上越市、三条市
2019年 11月23日(土・祝)	10月8日(火) ～10月25日(金)	10月11日(金) ～10月28日(月)	全種類	新潟市、長岡市、上越市
2020年 3月7日(土)	1月14日(火) ～1月28日(火)	1月17日(金) ～1月31日(金)	全種類	新潟市、長岡市、上越市